



自己実現を図るために

校長 牧野田 弘一

5歳くらいの頃、「あの高校に行くのだ」と勝手に思い込んでいました。

当時、近所の酒屋さんの店主姉妹は私のことを我が子のようにかわいがってくれていました。特に妹のAさんは、買い物に行くにも遊びに行くにも、いつも私の手をつないで出かける人でした。Aさんは戦後間もなく学制改革で高校が男女共学となった時代に入學した世代です。幼い頃からその学校でのAさんの思い出を幾度となく聞かされ、「僕はAおばちゃんと同じ高校に行くのだ」と漠然と憧れるようになっていたのです。

10年後の中学2年の冬。私の学力はその高校に入學するには到底及ばないもので、焦りを感じていました。それからの1年は、今までの人生を振り返っても、少なくとも勉強時間は一番長かったように思います。体力に任せて、深夜まで机に向かっていました。私を駆り立てたのは幼い頃に描いた夢、ではなく、同級生のBさんと同じ学校に行きたいという思いでした。相手も自分のことを憎からず思っている彼女と一緒に高校に通う夢。思春期の甘酸っぱい思い出です。

ところが、3年の1学期のテストは、相変わらずの結果です。腐りかけていた私を励ましてくれたのは数学の先生でした。「君の頑張り分かってるから。でもね、頑張った結果が出るのは、半年先だよ。先生もそうだったから」。半信半疑の私でしたが、秋の模擬テストの結果に自分でも驚くことになります。

15の春、貼り出された掲示板には私の受験番号がありました。

子どもたちは夢や希望を語ります。そのきっかけは様々でしょう。輝きを放っている人への憧れであったり、周りの大人の励ましや期待であったり。

「夢や希望」に向かって挑戦し続けると、いつかそれは輪郭のはっきりとした「目標」となります。目標を追いかけて努力した先にあるのが「自己実現」です。この過程を支えていくものが、粘り強さや我慢強さではないでしょうか。

今年度、学校教育目標を「夢や希望を抱いて挑戦し、自己実現を図る帖佐っ子」と改めました。まずは、子どもたちが夢や希望をふくらませることができるように、多くの体験や様々なひと・もの・ことに出会える機会をつくるのが大切です。そして、知力や体力や心を鍛えるために挑戦し続けてほしいと思います。自己実現までは長い道のりですので諦めそうになることもあるかもしれませんが、私たち大人は自分の経験を踏まえて、認め・励まし叱咤しながら応援し続けたいものです。夢を夢のままに終わらせないために。



さて私の高校生活はというと、Bさんとの心躍る3年間とはなりません。中学3年の冬、Bさんは保護者の転勤で県外へと引っ越してしまいました。待っていたのは、7時過ぎから始まる朝自習と、わずか5日の夏休み、そして雨が降っても泥だらけになりながらボールを追いかける部活動の日々でした。

始まっていますGIGAスクール

昨年度末に届いたタブレットパソコンの活用が始まっています。6年生はインターネットで新聞社のサイトに入り、情報を集めたり投稿したりしています。5年生の道德の時間には自分の意見をアンケートで答え、すぐに結果が出るのでみんなの考え方を確かめることができました。

職員も、授業の時に子どもたちの考え方や作品を共有するソフト、漢字や計算をタブレットパソコンで学習できるソフトについて研修会で学びました。



この場合は公平？不公平？
(道德の時間のアンケート)



職員も使い方を勉強です

また、算数では子どもも教師もデジタル教科書を使える環境が整いました。

今後もアイデア次第で、使い方が広がっていきます。鉛筆で文字を書く、ミニトマトの成長の様子を細かく観察する、本をめくって活字を読むという直接の体験と、タブレットを使った間接の体験をうまく組み合わせ、子どもたちの学ぶ力を育てていきます。

図書室に行こう（職員交代のお知らせ）

図書室の溝上綾香司書補が出産を控え、6月7日から産前休暇に入ります。それに伴い、代替の下萩原莉奈（しもはぎはらりな）司書補が6月1日から帖佐小学校で勤務しています。

溝上司書補と会うたびに「赤ちゃん元気ですか」と尋ねたり、そっとお腹をさすったりする優しい子どもたちの姿を見ることができました。

下萩原司書補は初めて学校で勤務しますが、早速子どもたちとのふれあいを楽しんでいます。

これからも帖佐っ子がたくさん集まる図書室であってほしいと思います。



あれ、図書室の先生が二人いるよ

入賞おめでとうございます！

学校を通じて応募した作品展で、子どもたちの頑張りを認めてもらいましたので紹介します。

【始良地区「歯と口の健康週間」図画・ポスターコンクール】

金賞 6年 堀○○○さん
銀賞 6年 飯牟禮○○さん、4年 福崎○○さん
銅賞 6年 與崎○○さん、1年 仁科○さん

また学校賞として「かごしま口腔保健協会長賞」をいただきました。

【南日本新聞「若い目」掲載（令和3年6月1日）】

6年 石塚○○○さん 「一年生と頑張ろう」

※ 個人情報保護の観点から児童氏名の一部を伏せてあります。

6・7月行事予定

【6月】 14日(月)～20日(日)家庭学習強化週間

1日(火) 水泳指導開始
9日(水) 児童総会(4～6年、各教室)
10日(木) 文化芸術鑑賞(4～6年、能楽)
11日(金) プール掃除(5年)
12日(土) 保護者への引き渡し下校訓練
24日(木) プール掃除(6年)
26日(土) PTA救命救急講習会
29日(火) 学級PTA(中・高学年)
30日(水) 学級PTA(低学年)
28日(月)～7月2日(金) 水泳学習参観週間

【7月】

5日(月) 民生委員と語る会、帖佐っ子を育てる会
10日(土) プール掃除(5年)
14日(水) 市教育委員会学校訪問
15日(木) 学校保健委員会
20日(火) 終業式(給食なし)

5日(月)～9日(金) 学用品持ち帰り週間
21日(金)～30日(金) 教育相談(保護者)

※ 新型コロナウイルス感染症対策のために、実施内容や時期を慎重に検討し、変更する場合があります。どうぞご理解ください。